

2014年2月10日

各 位

DAIKYO 大京グループ

大京グループのリフォーム・インテリア事業 大京エル・デザイン 新リフォームブランド「空間創造リフォーム」誕生 立体発想で、居住空間を最大限に活かすリフォーム

大京グループのリフォーム・インテリア事業を手掛ける株式会社大京エル・デザイン（東京都渋谷区、社長：海瀬和彦）は、新リフォームブランド「空間創造リフォーム」を立ち上げ、2月7日（金）新たにホームページを開設しましたのでお知らせいたします。

■「空間創造リフォーム」とは

大京エル・デザインはこれまで、お客さまのライフステージに合わせて、インテリアとリフォームのトータルソリューションを提供する大京グループのリフォーム・インテリア会社として、さまざまなリフォームのご提案を行ってまいりましたが、マンションという限られた居住空間内のリフォームは、いかにスペースを有効利用して生活空間を広げるか、ということが1つの課題でした。

この度、大京エル・デザインが新しく立ち上げた「空間創造リフォーム」はこの課題に着目し、今までのマンションリフォームの概念をさらに広げて、居住空間を最大限に活かすために考案した新発想のリフォームです。

「空間創造リフォーム」は、横の空間（面積）だけではなく縦の空間（体積）を意識した立体発想のプランニングを行うことで、今までデッドスペースだった箇所が、新たな居住空間として活用できるようになるのが大きな特徴です。マンションの場合、専有面積は変えられませんが、空間を3次元の視点で考えることで「広さ」を変えることができます。そうして増えた空間は、ロフトスペースなどの新しい生活空間や収納場所として活用できるようになり、家族形態やライフスタイルの変化など、よりお客さまのご要望に沿った暮らし方を実現できます。

大京エル・デザインでは、これまでに積み上げてきたリフォームのノウハウを活用し、なじみのある生活環境はそのままに、思い描いた理想の住まいを再構築しご提供致します。



■「空間創造リフォーム」の代表例

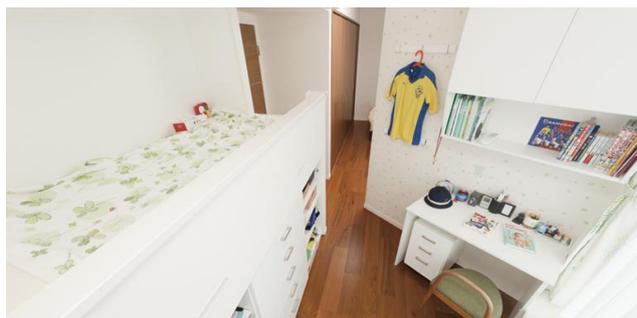
1. 小さなロフトから生まれる、個性的な空間

ロフトを設けることで、新たにできた2つの空間。階段の上は子供の好奇心をくすぐる秘密基地として、階段下は収納スペースとしてなど、コンパクトながらも個性的な空間を創出します。



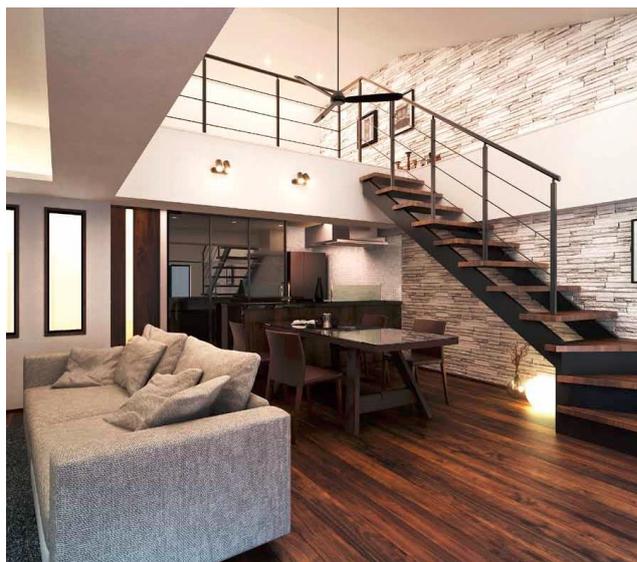
2. 部屋の狭さを感じさせない、効率的な空間づくり

限られた床面積を、大工工事・造作家具で2段ベッドを施工。広さを損なわずに効率よく空間をレイアウトでき、楽しさと機能性を両立した子ども部屋に変わります。



3. 天井の高さを活かして、新しい空間を創る

横方向の広さに、限りのある空間は、縦方向の高さを活用して空間上部にロフトを設置。これにより、今まで活用されていなかった部分をセカンドフロアとして利用できます。



■空間創造リフォームのホームページ

<http://kukan.l-reform.jp/index.html>

■株式会社大京エル・デザインの概要

- ・所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 19 番 18 号
- ・代表者：代表取締役社長 海瀬和彦
- ・設立：2006年8月16日
- ・資本金：2億円

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 広報室（今福・河守） TEL:03-3475-3802